

QPS研究所 会社紹介

株式会社QPS研究所
2025年2月27日

株式会社QPS研究所について

会社概要

社名	株式会社QPS研究所 (英文名称: Institute for Q-shu Pioneers of Space, Inc.)	
本社	福岡県福岡市中央区天神1-15-35 レンゴー福岡天神ビル6F	
創業年	2005年	
ビジョン	<p><パーパス> 宇宙の可能性を広げ、人類の発展に貢献する。</p> <p><ミッション> 九州に宇宙産業を根付かせる。</p>	
従業員数	65名 (2025年1月時点。社外から弊社への出向者を含む)	
事業内容	小型SAR衛星の開発、製造、運用 自社の運用する小型SAR衛星からのSAR画像データの取得、分析、販売 上記に関する技術コンサルティング	



代表取締役社長 CEO 大西俊輔

九州大学大学院航空宇宙工学専攻博士課程修了。博士（工学）。
2013年にQPS研究所に入社し、翌年 代表取締役に就任。

2023年にQPS研究所を東証グロース市場への上場に導き、
現在は世界トップレベルの小型SAR衛星の開発・運用を行っている。

学生時代から現在にいたるまで、十件を超える小型人工衛星開発プロジェクトに従事。

株式会社QPS研究所について

HISTORY

1

1995年から始まった**九州大学**における20年以上の
小型衛星研究・開発がベース

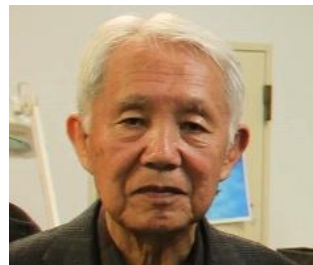
HISTORY

2

九州大学名誉教授と
三菱重工のロケット開発者により**2005年**に創業



八坂哲雄
九州大学名誉教授



桜井晃
九州大学名誉教授



船越国弘
三菱重工業(株)長崎造船所
(宇宙・防衛機器開発)

北部九州宇宙開発パートナー企業について



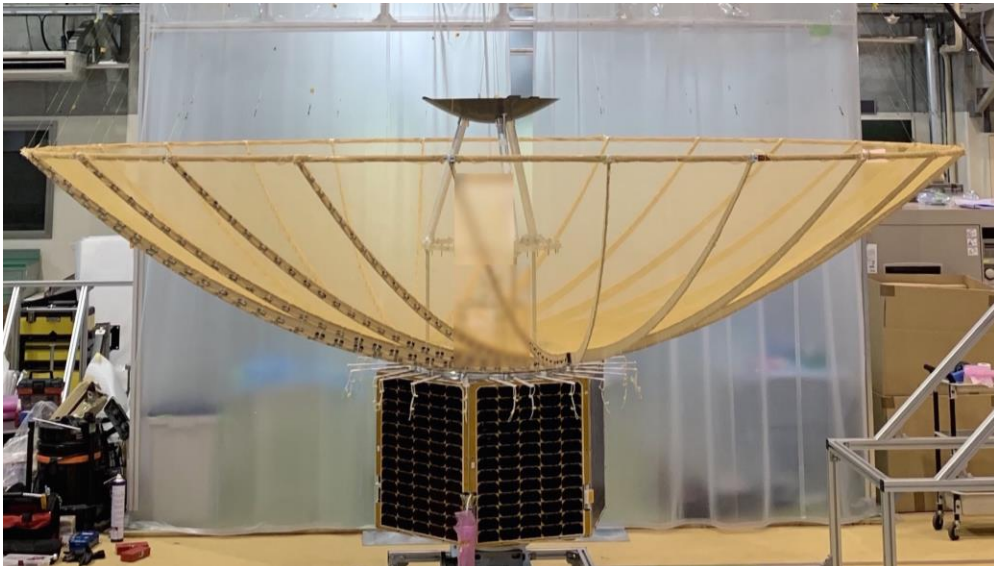
創業の頃から20年以上の長い期間、一緒に開発・失敗を繰り返してきた北部九州を中心とした地場のものづくり企業との経験が、現在のQPS研究所のスピーディーな衛星開発を支えています。



QPS研究所のあゆみ



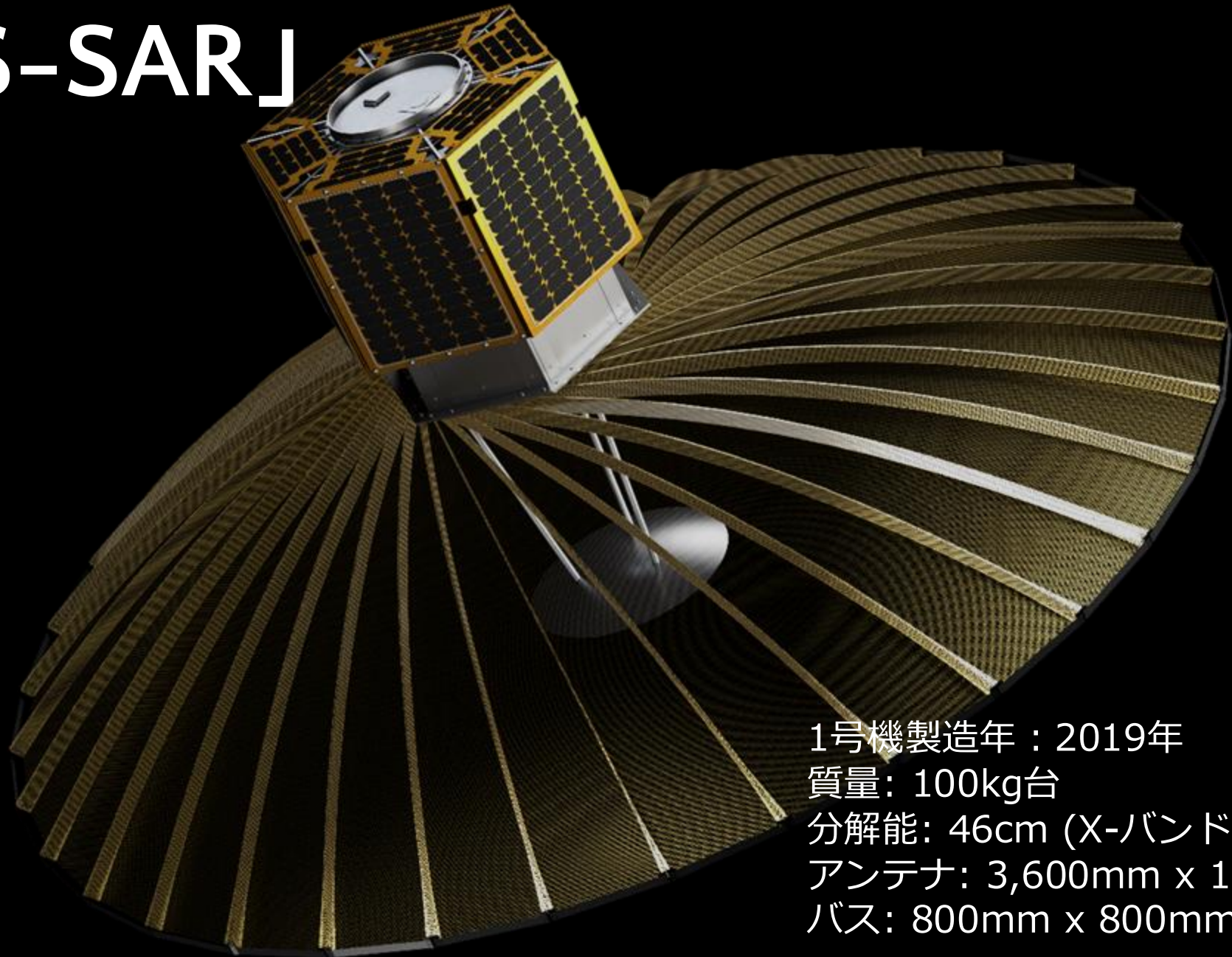
2013年に大西が入社、2014年に代表取締役社長へ。
創業者の想いを受け継いで、九州に宇宙産業を根付かせるために、新衛星プロジェクト「QPS-SAR」の開発へ。



©ISRO

QPS研究所小型SAR衛星

「QPS-SAR」



1号機製造年：2019年

質量：100kg台

分解能：46cm (X-バンド)

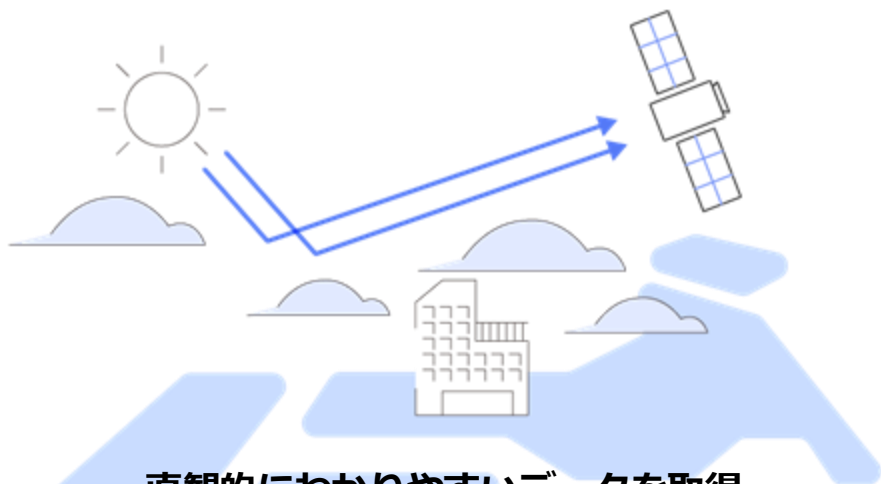
アンテナ：3,600mm x 1,000mm

バス：800mm x 800mm x 800mm

SAR(Synthetic Aperture Radar)について

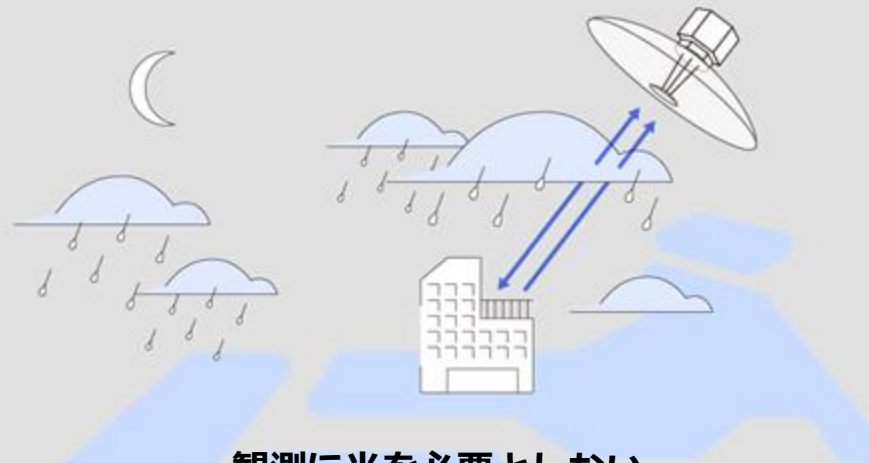
SAR衛星は宇宙から地上にむけて電波を照射し、
地表面からの反射波を受信することにより地表の形状や性質に関する情報を取得します

光学衛星



直観的にわかりやすいデータを取得
75%は夜間もしくはは天候不良により観測不可

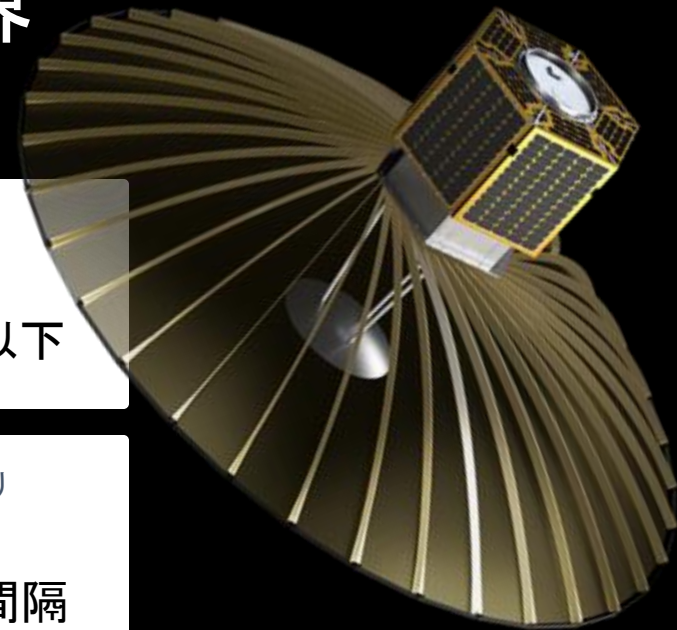
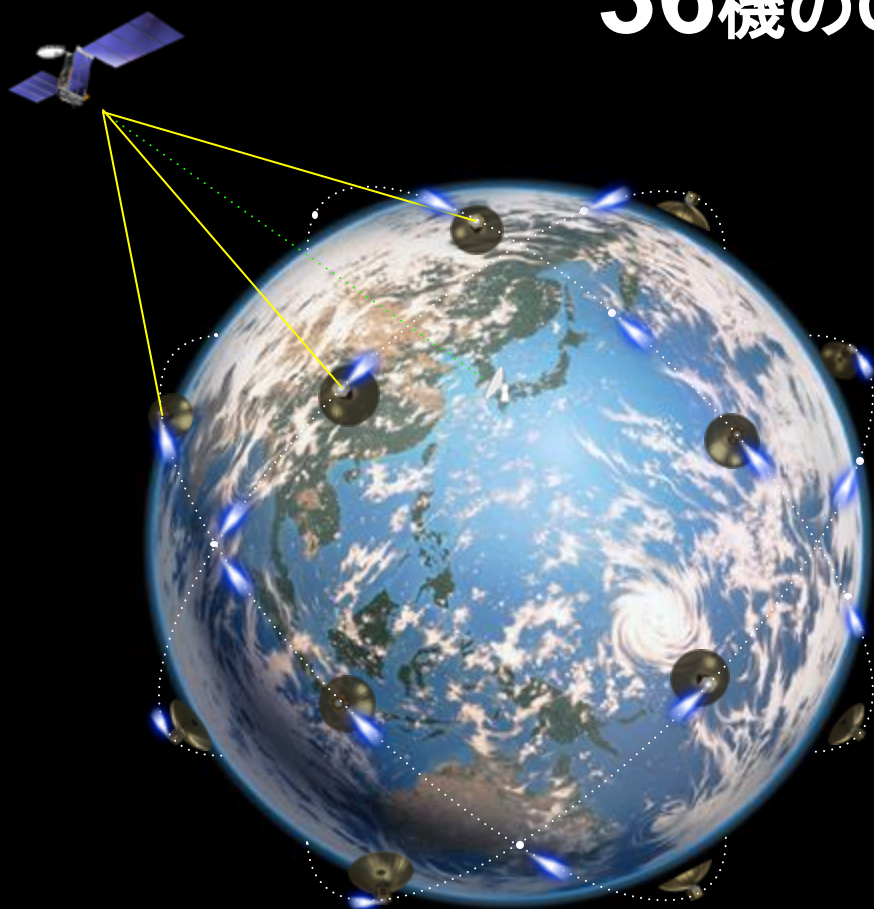
SAR衛星



観測に光を必要としない
電波は雲を透過する

SARは天候昼夜関係なく観測が可能

36機のQPS-SARで実現する世界



1

高精細SAR衛星により

分解能 **0.5** m以下

2

36機のコンステレーションにより

観測頻度 **10** 分間隔

3

衛星間通信の利用により

配信 **10** 分以内

高画質画像による「準リアルタイム地球観測」

QPS-SARプロジェクトのビジネス

小型SAR衛星を開発・製造・運用し、取得したSAR画像データを販売しています。



衛星を開発

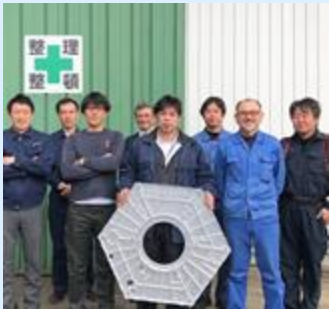
衛星を打上げ

地球を観測

画像を販売

仕入先

北部九州
宇宙クラスター等



開発・製造



打上げ



SAR画像データ



販売先

販売代理店
画像解析代理店

衛星通信

重工業

建設

インフラ

エンドユーザー

官公庁

県庁・市役所

地図製作

インフラ

気象情報

保険会社

将来的には小型SAR衛星本体の受託開発・直接販売も検討（現在複数の開発案件が進行中）

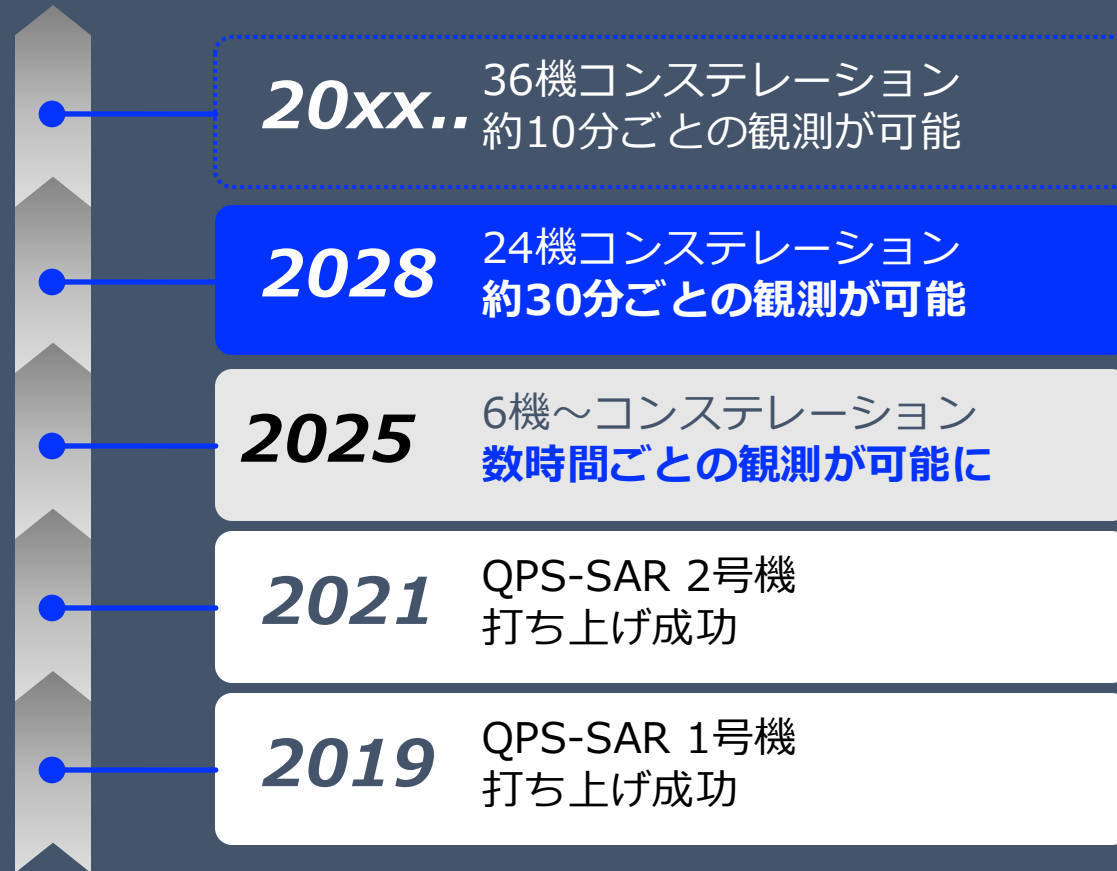


新たなステージへ 東京証券取引所へ上場

2023年12月6日、東京証券取引所グロース市場(証券コード：5595)へ上場。



コンステレーション構築計画



2028年5月末頃には24機体制で < 1時間毎の準リアルタイム観測が可能

宇宙の可能性を広げ、人類の発展に貢献する



SHAKE THE WORLD.
CHANGE THE WORLD.